

(公社) Knotsの活動と25年の歩み

—小さな結び目は社会を変える—



<http://knots.or.jp>

日本獣医史学会の皆様へ

団体設立の契機となった阪神・淡路大震災から25年
NPO法人設立から20年
公益社団法人認定から10年の節目の年

私共のような小さな団体の歩みを、「四半世紀は立派な現代史」と
このような機会を頂き、本当に有難うございます。
温かいご配慮を賜りました役員の皆様、事務局の皆様に
改めて御礼申し上げます。

公益社団法人Knots 一同



PIIA Knots の始まり

2000年 NPO法人として設立。 2010年公益社団法人に認定。

Knots とは、『結び目』という意味。

日本で初めて組織的な動物救援が行われた
阪神・淡路大震災。

その1年後、譲渡された動物達の調査が行われた。

その時ボランティアで調査に参加した愛玩動物飼養管理士の
メンバーが「人と動物の共生へ向けて」の小さな啓発活動を始めた。

問題の多くは、「専門家の持つ正確な情報が
一般の人達と乖離しているからでは？」と感じたメンバーは、
人と人、人と動物を繋ぐ結び目になろうと
Knots(結び目) を創り始めた。

飼い主の立場から「**だったらいいな**」への挑戦が始まった・・・



PIIA Knots の今 - 1

事業フィールドは社会教育

行政、企業、団体の皆さまのご理解とご支援を賜り、
啓発・教育・研究の事業を運営させて頂いております。

<啓発事業>

「神戸 全ての生き物のケアを考える国際会議
- ICAC KOBE」

「ずっと一緒にいようよ」プロジェクト
国際シンポジウム

りぶ・らぶ・あにまるずフェスティバル
六甲山カンツリーハウスでのドッグラン事業
りぶ・らぶ・あにまるず賞 (2019年終了)

<教育事業>

奈良県のちの教育展開事業
教育ツール共有事業

<他団体との連携>

神戸市人と猫との共生推進協議会
野生動物研究グループ
(兵庫県森林動物研究センター)

<情報提供事業>

Knots ウェブサイト
Knots Club News (メルマガ) 発行
コンサルティング・講師派遣

<障害者自立支援事業 & 野生動物有効活用推進事業>

Knots あったらしいな事業 (ワンちゃんおやつの製造販売)



PIIA Knots の今 - 2

<アドバイザーボード メンバー>

- 福地茂雄様 (元アサヒビール株式会社 社長・元NHK会長)
柴内裕子様 (公益社団法人日本動物病院協会 相談役/赤坂動物病院 総院長)
多田幸雄様 (株式会社双日総合研究所 相談役)
出来由紀子様 (株式会社フォスター 代表取締役)
近藤智子様
(MS&AD インシュアランス グループホールディングス株式会社 常勤監査役)
奥野敦史様 (株式会社マイナビ メディカルコミュニケーション部 部長)

<会員及び執行体制>

社員 (正会員) 25名
事務局 5名 + 協力事業者の皆さま



PIIA Knots の今 - 3

< 委員等 (理事長) >

平成15(2003)年/16(2004)年度 兵庫県ワイルドライフ・マネージメント計画・運営協議会 委員

平成16(2004)年度 兵庫県の移入種対策にむけた提案策定委員会 委員

平成17(2005)年12月9日～平成19(2007)年3月31日 野生動物保護管理運営協議会 委員

平成22(2010)年10月1日～平成23(2011)年3月31日 長崎大学経済学部 非常勤講師

平成24(2012)年9月～平成30(2018)年8月31日 農林水産省 獣医事審議会 委員

平成25(2013)年4月～ 日本獣医史学会 評議員

平成25(2013)年4月～ 奈良県「いのちの教育」研究協議会 副会長

平成26(2014)年12月～ 長崎市観光大使

平成27(2015)年4月～ 武庫川女子大学 文学部 非常勤講師

平成29(2017)年4月～ 神戸市人と猫との共生推進協議会 監事

平成29(2017)年5月～ 国立大学法人 滋賀大学 広報アドバイザー

平成31(2019)年4月～ 神戸市動物愛護協会 理事

共著「兵庫の生きものたち」2004 (発行：神戸新聞総合出版センター)

寄稿「地球人」No.9 2006 寄稿(発行：ビイング・ネット・プレス)



始まりは、犬たちと暮らし始めたこと。



1995年1月17日午前5時46分 阪神・淡路大震災

- 死者 6434 人 住宅被害約 64 万棟
- 被災動物 9300 頭 (推定)

歴史的動物救援事業により 1545頭を保護・譲渡

「大地震の被災動物を救うために:

兵庫県南部地震動物救援本部活動の記録」

神戸大学図書館震災文庫

(<http://www.lib.kobe-u.ac.jp/directory/eqb/book/7-156/index.html>)



兵庫県南部地震動物救援事業の後に

日本で初めて組織的な動物救援が行われた
阪神・淡路大震災。

その1年後、譲渡された動物達の調査が
兵庫県南部地震動物救援本部及び
社団法人日本愛玩動物協会（当時）によって行われた。

成犬・成猫のほとんどが、新しい飼い主になつており、
成犬・成猫譲渡へ繋がった。

兵庫県に**動物愛護センター**が設置される。（1998年）
（現在：県内5カ所）

動物愛護法の改正（1999年）

兵庫県南部地震動物救援事業からの一連の事業は、

『人と動物の共生の礎』



兵庫県愛玩動物飼養管理士会

- 阪神・淡路大震災を契機に設立
- 「兵庫県南部地震動物救援事業譲渡動物のその後」の調査員を担当
- 主婦やペットショップ勤務者が中心
- 相談、啓発活動
- 大型犬の飼育困難からの資格取得も



介助犬シンシアとユーザーの木村さんの講演会 (兵庫県愛玩動物飼養管理士会総会) 1998年4月26日 ホテルニューアルカイク (尼崎市)

コース

つポイ捨て

人が社会が
無理解のために...

子どもたちは喜んでかごやド
リなどを探し、何気なく捨て
た。同様に、何気なく捨てた
ゴミが、環境汚染の原因とな
り、健康被害を引き起こすこ
とが、最近多くなっている。
ゴミの分別と回収の徹底が
求められている。ゴミの分別
と回収の徹底が、環境汚染
の原因とならないよう、こ
どもたちから呼びかけよう。
【編集 知21】

**盲導犬同様の
公的助成訴え**
宝塚の木村さん講演

盲導犬と同様に、視覚障害者
の生活を支える盲導犬は、公
的助成を受けている。しかし、
視覚障害者だけでなく、聴覚
障害者や知的障害者など、多
くの障害者が、社会生活を送
る上で必要とする介助犬を飼
育している。しかし、介助犬
の飼育には、公的助成がな
く、飼い主の自己負担が大き
い。木村さんは、この問題を
指摘し、公的助成の充実を訴
えている。講演では、介助犬
の役割や、飼育の苦労、公
的助成の現状などについて、
詳しく話された。講演の最後
には、木村さんとシンシアの
交流の様子が披露された。演
講は大成功を収めた。【編集 知21】

ホテル、飲食店 介助犬「お断り」

視覚障害者にも優しい
「似絵」

大井牛肉
魚と味噌汁・牛肉焼酎

男子 三菱電機
女子 住金尼崎

社会 事件 ひと 話題

1998年(平成10年)4月15日(水曜日)

介助犬にも「市民権」を

盲導犬
並みに
ホテル立ち入り認めて

「運如と本願寺」展

「魚のとおりぬけ」
海遊館内に登場
海中散歩の気分

震災犠牲者に鎮魂の踊り
大道芸人が公演始

身近な環境の
西宮の
アース
目に見える

Live Love
Animals

「介助犬は
体の一部」

車いすの男性 尼崎で講演
社会の理解求める

木村佳友さんの指示で、脱がせた靴を
渡すシンシア=尼崎市内のホテルで

木村佳友さん(左)とシンシア(右)が、講演会に参加している。木村さんは、講演で、介助犬の役割や、飼育の苦労、公的助成の現状などについて、詳しく話された。講演の最後には、木村さんとシンシアの交流の様子が披露された。講演は大成功を収めた。【編集 知21】

震災犠牲者に鎮魂の踊り
大道芸人が公演始

身近な環境の
西宮の
アース
目に見える



ワンワンフェスティバル (1997年～1999年)

- 1997年 つかしん (商業施設・尼崎市)
災害救助犬、盲導犬、介助犬、警察犬等のワーキングドッグの
デモンストレーション、
お手入れ講習、飼い主さんの参加型競技など

**「愛犬と一緒に出掛けたい」という飼い主ニーズと、
犬連れで入れる場所を増やす効果**

- 1998年 兵庫県三田市
- 1999年 神戸市しあわせの村ハッピーボリデー内での開催
- 1999年 神戸市ポートアイランド第二期芝生広場



ワンワンフェスティバル'99 in KOBE

～神戸からありがとう～

あれから4年、元氣を取り戻しつつある神戸の街で、
いろんな「ありがとう」の気持ちが生まれ続けています。
そんな、みんなの想いを込めて・・・
ボク達と人間達のフェスティバルを開催します。



11月7日 日曜日
ポートアイランド 二期
芝生広場にて
入場無料・小雨決行
11:00～16:00



もっと知ろう！

デモンストレーション

アシリティー(11:00～)や盲導犬(11:30～)、
警備犬(12:40～)、介助犬(13:10～)、
フリスビー(14:35～)の実演

展示コーナー (終日)

『被災動物の救援活動とその後のあゆみ』
『人と動物とのふれあい運動』他

相談コーナー

犬の飼い方やしつけの相談(終日)
家でもできる犬の基本的な手入れ(終日)
獣医師によるペットの健康相談(13:00～)

お役立ちグッズ紹介コーナー

ワンちゃんと楽しく暮らせるグッズを紹介

もっと一休み ドッグカフェ(終日)

(協力：UCCフードサービスシステムズ株式会社)
ワンちゃんと一緒にお茶を飲んでみよう。(有料)

ミニコンピニ(終日)

(協力：株式会社ローソン)

主催：ワンワンフェスティバル実行委員会

(社)日本愛玩動物協会/兵庫県愛玩動物飼養管理士会)

参加協力団体：兵庫県動物愛護センター/神戸市保健福祉局健康部生活衛生課/(財)神戸畜産振興コンベンション協会/
介助犬協会/(社)日本動物福祉協会/(社)日本動物福祉福祉協会/大夏長動物福祉×モリアル協賛会/
阪神警備犬訓練所/(社)兵庫県警務犬協会/(財)関西警務犬協会/
加古川リバーサイド・ドンダクラブ(協力：日本フリスビー・ドッグ協会)/
足利市動物愛護センターボランティアグループ [協賛] [協賛]
後援：兵庫県/兵庫県教育委員会/神戸市/神戸市教育委員会/(社)兵庫県獣医師会/(社)神戸市獣医師会/
K.I.S.S.-R.N. K.O.B.E. [協賛]

特別協賛：UCCフードサービスシステムズ株式会社/株式会社ローソン/
協賛：(財)中央コンベンション協賛財団/UCCフードサービスシステムズ株式会社/株式会社ローソン/
東リ株式会社 [協賛]

参加しよう！

ワンワン体操 (13:40～)

ワンちゃんの健康管理は、まず心けることから！
どこでもふられる犬にしよう。

ワンちゃんクイズ (15:00～)

ワンちゃんのことを、もっと知って友達になろう!!

ワンワン障害物レース (15:30～)

スワレとマテが出来れば誰でもOK!
愛犬と一緒に参加しよう!!
参加受付は当日 13 時までです。
事前予約も受け付けています。

同時開催

第2回
神戸/ハローライフ・フェア
1999年 11月6日(土)7日(日)
10:00～17:00
神戸国際展示場

クラフトゴルフ大会もあります!
11月7日(日)11:00～16:00
<運動広場にて>

プログラム

11:00 オープニング

グラウンド	時間	ステージ
アシリティー実演	11:00	
	11:30	盲導犬デモンストレーション
	12:00	しつけ相談教室
警備犬デモンストレーション	12:40	
ワンワン体操	13:40	
	14:10	盲導犬レシビエント斎藤氏のお話
フリスビー実演	14:35	
ワンワン障害物レース	15:30	
	16:00	終了

ご来場の皆様へ

- お連れになるワンちゃんは、迷子や事故防止のため必ずリードを替けてください。
- シーズン中や狂犬病予防注射の済んでいないワンちゃんは入場をご遠慮ください。
- ワンちゃんは、各自が責任を持って管理してください。
- イベント会場及びイベント中に発生した事故、盗難、破損等には、一切責任は負いません。
- 会場内、及び会場周辺では、主催者であるワンワンフェスティバル実行委員会の指示にしたがってください。
- 万が一に備えて、迷子札を付けておいてください。

会場案内



交通

JR・阪急・阪神三宮駅より乗り換え
「ポートライナー」市民広場駅下車
「動く歩道」を利用 会場へ

お問合せ先 ワンワンフェスティバル実行委員会事務局

(兵庫県愛玩動物飼養管理士会 事務局内)

TEL/FAX 0727-59-6056

受付時間：平日 13:00～17:00




わつと知ろう、
デモンストレーション

アシリティー実演



盲導犬デモンストレーション



わよつとー休み
ドッグカフェ(終日) 
(協力: UCC フードサービスシステムズ株式会社)
ワンちゃんと一緒にお茶を飲んでみよう。(有料)

ミニコンビニ(終日)
(協力: 株式会社ローソン)





2000年5月10日 NPO法人Knots 設立

「伴侶動物として動物達との暮らしを大切にする人々が増える一方で、周囲との軋轢も生まれています。しかしこれらは、動物の習性や法令等の知識の不足によるものも多く、今までの活動の中で、一般の方々と専門家及び行政などの専門知識を持った方々との解離を感じ、この距離を縮めることが、大切であると痛感しています。

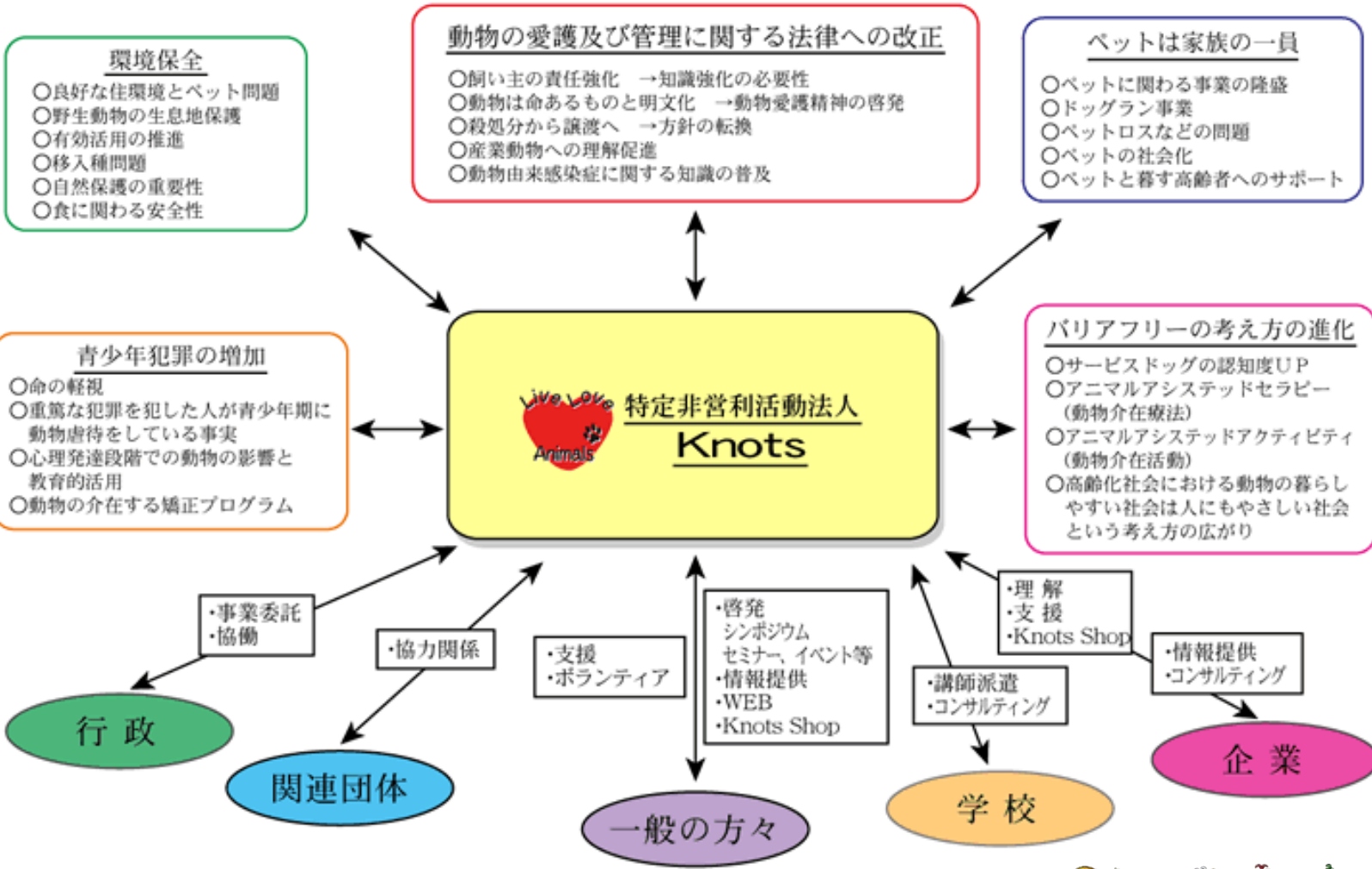
そこで、一般の方々と専門家及び行政を結ぶ結び目(knots)として、伴侶動物の適正飼養と動物愛護精神の啓発活動のためのイベントや、適正飼養に係る相談及び情報提供業務を通じて、生命尊重や友愛、平和の情操を育み、ひいては人間及び動物達が共生できる社会の構築に寄与してまいります。

また、こういった活動をベースにし、伴侶動物、産業動物、野生動物という区分を越えて人間と動物達がいかに共生していくかといった壮大なテーマにも取り組んでいきます。」

兵庫県行政獣医師の示唆

「動物の業界は、(伴侶動物、産業動物、野生動物と) 行政も取り組む人もバラバラで、横の繋がりが無い。そういったところを繋ぐ役割もして欲しい」





環境保全

- 良好な住環境とペット問題
- 野生動物の生息地保護
- 有効活用の推進
- 移入種問題
- 自然保護の重要性
- 食に関わる安全性

動物の愛護及び管理に関する法律への改正

- 飼い主の責任強化 → 知識強化の必要性
- 動物は命あるものと明文化 → 動物愛護精神の啓発
- 殺処分から譲渡へ → 方針の転換
- 産業動物への理解促進
- 動物由来感染症に関する知識の普及

ペットは家族の一員

- ペットに関わる事業の隆盛
- ドッグラン事業
- ペットロスなどの問題
- ペットの社会化
- ペットと暮らす高齢者へのサポート

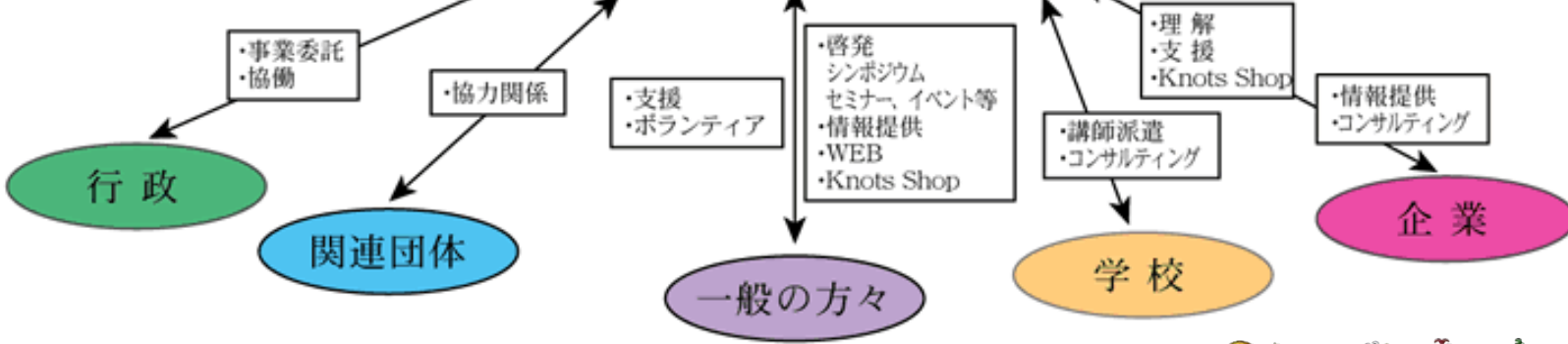
青少年犯罪の増加

- 命の軽視
- 重篤な犯罪を犯した人が青少年期に動物虐待をしている事実
- 心理発達段階での動物の影響と教育的活用
- 動物の介在する矯正プログラム

バリアフリーの考え方の進化

- サービスクグの認知度UP
- アニマルアシステッドセラピー (動物介在療法)
- アニマルアシステッドアクティビティ (動物介在活動)
- 高齢化社会における動物の暮らしやすい社会は人にもやさしい社会という考え方の広がり

Live Love Animals
特定非営利活動法人
Knots



子どもセミナー 兵庫県動物愛護センターと協働

- 子ども達に動物に関連する正しい情報を提供。
生命の大切さや生き物に対する親しみを持って頂けるよう開催
(2000年～2007年)
- テーマ：
 - 「産業動物」
 - 「クマとまちの動物たち」
 - 「人と牛のかかわりあい」
 - 「ミドリガメから学ぼう」
 - 「もっと知ろう！君も今日からワンちゃん博士」
 - 「みんなの友だち、ラビット君セミナー」
 - 「正しい動物飼育で楽しい生活 犬編」
 - 「もっと知りたい！君も今日からWANWAN博士」
 - 「武庫川・生物調査隊」
 - 「クマごろうセミナー」
 - 「ウンチをきわめる『目指せ！紙すき名人』」
 - 「はたらく犬・クマ対策専用犬 ベアドッグ」
 - 「社地区 緑の少年団交流集会」
 - 「動物のたべものから「食べる」を考えよう！」



2000年 ペットと行く旅行

- 関西地区の飼い主にアンケート調査を実施
 - * 約8割の飼い主が、一緒に部屋に泊まりたいと望んでいた。
- エースJTB 「一緒にいこうよ」商品開発へ
 (現：【ペットと泊まれる宿】)



* 現在も商品は好調。パンフレット監修中。

4月からの '14.4/1~9/30発 関西発

10月以降の宿泊予約も受付中(一部除く)
enjoy with your PET

日本に、もっと恋しよう。
エースJTB

京阪神から気軽に行ける
関西近郊エリアが充実!

ペットと泊まれる宿
ネコちゃん宿泊OKのお宿もありません。

11,300円~18,300円

伊勢志摩
京都 びわ湖
南紀 兵庫
北近畿 山陰
山陽 四国
飛騨東海
信州 北陸
伊豆 富士

わんわんパラダイス 4施設
関西近郊エリア 一緒に泊まれるお宿・個室・コテージ 16施設
ペット専用ルームがあるお宿 5施設
関西近郊以外のエリア 12施設

旅の過ごし方 BOOK! 付
基本代金には全てのお宿でペット1匹分の宿泊代金が含まれています。出発日の前日までお申込OK!

お申込みはエースJTB取扱店へどうぞ
旅行代金に消費税・サービス料が含まれております。

2001年 神戸 21世紀・復興記念事業 神戸ガーデンシティフェスティバル 「ドッグラン 21 The First Run in KOBE」

85m×92m 7820㎡(2365坪) 無料・期間限定 44日間

**狂犬病予防法に基づく鑑札と済票の装着の確認
犬同伴ではない人の入場も認めた（この時のみ）**

「動物との共生」に掛かる青少年教育や高齢者福祉への知見が広がり始めていた頃
専門家がバックアップする体制をきちんと組めば、飼っている人だけではなく、
飼っていない人の為の施設にもなる

→ **六甲山カンツリーハウスドッグラン事業へ繋がる**

- スタッフ犬による触り方指導、ふれあい教室、しつけ教室、
ドッグスポーツ大会・体験会、マナー講座、プロによる撮影会

→ **ドッグスポーツのフェスティバルへ繋がる**



International Conference on Animal Care in KOBE

2004年～ 六甲山カンツリーハウスドッグラン

- 2004年に2日間の催事としてスタート。
- 入園料とは別に1,000円必要
- 春と秋各10週程度 土日祝のみの開催。
- ワンちゃんのデータカード 現在**13000番**台。
- 監視員として、専門家が常駐する形式
- 「ワンちゃん大運動会」「アジリティ体験会」
「ディスクドッグ講習会」など催事多数



六甲山カンツリーハウス Dog Run





りぶ・らぶ・あにまるずフェスティバル

- 2003年～2007年「**Enjoy Sports with Dogs**」
ポートアイランド2期芝生広場 共催：神戸市動物愛護協会
ドッグスポーツ(フリスビー・アジリティ・ギグレース・
ケーナインフリースタイル(人と犬のダンス))を中心に秋に開催
- 2002年5月 **Play Day with Dogs** (総会イベント)
2003年より **Y2Day with Dogs**

2008年 芝生広場が閉鎖 兵庫県三木市と神戸市しあわせの村で開催

2009年～2015年 春と秋の開催を秋に統一 神戸総合運動公園で開催

2016年～ 六甲山カンツリーハウスドッグラン

「**ワンちゃん大運動会**」との共催で継続





神戸市動物愛護協会矢田会長、鶴崎理事、石井理事
 ネスレピューリナペットケア株式会社ハマー社長
 ジージーちゃん、ハンナちゃん



International Conference on Animal Care in KOBE



りぶ・らぶ・エクササイズ

- 「スワレ・マテ・オイデ」とどこでも触られることを楽しんでできるように考案
- 使用曲 Audy KIMURA氏
「Melody & Harmony」
- フェスティバルの開会式などで実施
- 2017年よりイベントでの実施を
You Tube で配信



2000年～2019年 りぶ・らぶ・あにまるず賞

- 人と動物との共生のための商品や活動を高く評価すると共に感謝の気持ちを伝える
- 企業商品部門、企業CM部門、企業活動部門の3部門
- 毎年一般の方々によりノミネートを頂き、審査員の投票によって各部門賞とグランプリを決定



「りぶ・らぶ・あにまるず賞」グランプリ

- 「20世紀のりぶ・らぶ・あにまるず賞」
(株) 徳間書店スタジオジブリ事業本部
- 2001年 JTBエース「いっしょに行こうよ」
- 2002年 『Priceless 犬がいる生活編30秒』
マスターカード・インターナショナル・ジャパン・インク
- 2003年 秋田市 犬の登録の電算化
- 2004年 わんわん パトロール隊
尼崎市役所市民局生活文化部コミュニティ推進課
- 2005年 テレビCM「フレンドがいれば人生は楽しい」
三井住友銀行グループ SMBCフレンド証券株式会社
- 2006年 和歌山電鐵貴志川線 貴志駅「猫の駅長さん」
和歌山電鐵株式会社
- 2007年 「ペット用紙オムツ」
ユニチャーム・ペットケア株式会社
- 2008年 熊本市動物愛護センター「犬殺処分ゼロ 熊本市の挑戦」
- 2009年 「FinePix F80EXR」 富士フイルム株式会社



「りぶ・らぶ・あにまるず賞」グランプリ

- 2011年 Knotsを支えてきて下さった企業の皆様へ感謝の表彰
ネスレ日本株式会社 ネスレピューリナペットケア 様
六甲山カンツリーハウス 様
株式会社ジェイティービー西日本国内商品事業部 様
株式会社セラヴィリゾート泉郷 様
レッドハート株式会社 様
- 2012年 TOYOTA DOG サークル
- 2013年 SUBARU USA テレビコマーシャル
- 2014年 「東京海上日動 超保険 生活サポートサービス『超保険アシスト』」 (24時間ペット電話相談)
- 2015年 特別賞 : 2015年度ノーベル医学生理学賞受賞 北里大学 大村 智 先生
— 寄生虫病の治療薬「イベルメクチン」の開発
グランプリ : 愛媛銀行 CSR 動物愛護推進連携協定
- 2016年 グランプリ : 佐賀県旅館ホテル生活衛生同業組合
特別賞 : APPRICIATE CORP. (台湾)
- 2017年 該当なし
- 2018年 「大東建託」 いぬとくらす・ねことくらす ウェブサイト
- 2019年 「特定NPO法人 アンビシャス」 (ペットとの防災、災害対策)



2001年 神戸 21世紀・復興記念事業／環境省動物愛護週間地方行事
りぶ・らぶ・あにまるず21

国際シンポジウム（神戸国際会議場メインホール）

&パブリックフォーラム（ワールド記念ホール）

『人と動物の共生へ向けて～人には何ができるのか～』

主催：りぶ・らぶ・あにまるず21実行委員会 一環境省・兵庫県・神戸市・NPO法人K nots
特別協賛：フリスキー株式会社

ドイツ： ベルリン・ランクヴィッツ動物保護施設 代表 フォルカー・ヴェンク氏

英国： 世界動物保護協会（WSPA）法務統括責任者 ドラガン・ナスティック氏、

フランス： アメリア・タルジ氏（法律家）

米国： HSUS副会長 リック・スウェイン氏

（米国同時多発テロの影響で来日叶わず）

日本：環境省自然環境局総務課動物愛護管理室長補佐

兵庫県県民生活部健康福祉局生活衛生課動物衛生係長

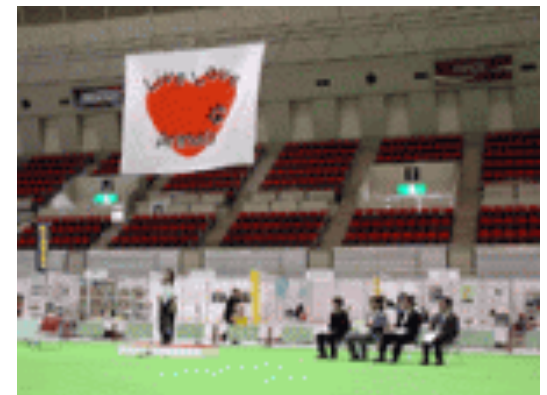


パネルディスカッション

* 【動物は命あるもの】と規定した動物愛護法への改正を受け、
「人と動物の共生」をテーマに開催



2001年 パブリックフォーラムの様子ー犬の入場を可能にした



Knotsの拡がり

- 特別協力 大震災動物救護メモリアル協議会
（構成団体：兵庫県、神戸市、（社）兵庫県獣医師会、（社）神戸市獣医師会、
（社）日本動物福祉協会 阪神支部）
- 参加展示協力団体 兵庫県動物愛護センター／神戸税関／姫路市立動物園／姫路市立水族館／
WWFジャパン（（財）世界自然保護基金ジャパン）／（社）日本動物病院福祉協会／
（社）日本動物福祉協会 阪神支部／（社）兵庫県盲導犬協会／兵庫県動物愛護協会／介助犬協会／
日本障害者乗馬協会／明石乗馬協会／日本フリスビードッグ協会／加古川リバーサイドドッグクラブ／
NPO法人ペット・フォー・ライフ・ジャパン／東中国クマ集会実行委員会／
尼崎市動物愛護センターボランティアグループ
- 助 成 神戸21世紀・復興記念事業推進協議会
（財）中内カコンベンション振興財団
- 参加企業 株式会社エフティ資生堂／松下電工株式会社／
株式会社キンペックスインターナショナル／ヤマハリゾート株式会社 合歓の郷
- 情報提供 株式会社大和総合技術研究所生活ソフト研究室／株式会社INAX／株式会社泉郷／
L.L.Bean／ペピィ事業部



- 後援 兵庫県教育委員会／神戸市教育委員会／在大阪連合王国総領事館／
 在大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館／在大阪・神戸フランス総領事館／
 在大阪・神戸アメリカ合衆国総領事館 関西アメリカン・センター／
 (社)兵庫県獣医師会／(社)神戸市獣医師会／
 Royal Society for the Prevention of Cruelty to Animals (王立動物虐待防止協会)
- 御賛同団体 兵庫県立人と自然の博物館／財団法人 日本動物愛護協会／
 社団法人 日本動物福祉協会／社団法人 日本動物病院福祉協会／
 社団法人 日本動物保護管理協会／社団法人 日本獣医師会／
 近畿地区連合獣医師会／社団法人 日本動物園水族館協会／
 ヒトと動物の関係学会／動物との共生を考える連絡会／
 ペット研究会 互(GO)／自然と動物を考える市民会議／
 社団法人 日本社会福祉愛犬協会／社団法人 大阪動物愛護会／
 全国学校飼育動物獣医師連絡協議会 (J S c A)／動物法務協議会／
 NPO法人 ねこだすけ／NPO法人 カイアニマルトラスト／
 北日本動物福祉協会／優良家庭犬普及協会／
 日本フリスビードッグ協会／社団法人 日本警察犬協会／
 財団法人 関西盲導犬協会／日本介助犬アカデミー／
 NPO法人 日本聴導犬協会／聴導犬普及協会／NPO法人 日本救助犬協会



International Conference on Animal Care in KOBE

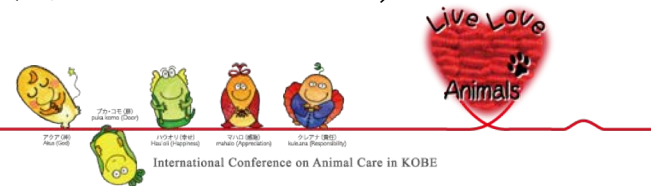
りぶ・らぶ・あにまるず シンポジウムのテーマ

- 2001年 人と動物の共生／動物愛護法
- 2002年 子ども達への心身の影響／アレルギー・虐待他
- 2003年 高齢者との関わり
- 2004年 青少年の更生／少年院での再犯率ゼロの取組み
- 2005年 R.E.A.D. ドッグ プログラム／読書教育支援
- 2006年 シェルター・マネージメント
- 2007年 シカとイノシシの有効活用
- 2008年 動物看護師の役割について
- 2010年 発達障害児の療育
- 2013年 PTSDとアニマルセラピー



シンポジウム海外招聘スピーカーの皆様

- 2001年 ドラガン・ナスティック氏 (WSPA 英国)
フォルカー・ベンク氏 (ベルリン動物愛護協会 ドイツ)
アメリア・タルジ氏 (フランス)
- 2002年 ビル・ヘッセルマー氏 (子ども病院 スウェーデン)
ジュリー・バンク氏 (米マリコパ郡動物保護施設)
フランク・アシオン氏 (ユタ州立大学 米国)
- 2003年 エリザベス・オームロッド氏 / メアリー・ワイアム氏 (SCAS 英国)
- 2004年 ジョアン・ドルトン氏 (プロジェクト・プーチ 米国)
- 2005年 キャシー・クロッツ氏 (R.E.A.D. プログラム 米国)
- 2006年 レベッカ・ローアデス氏
(カウアイ・ヒューメイン・ソサイエティ 米国)
- 2007年 林良博氏 (座長 / 兵庫県森林動物研究センター)
- 2010年 木下美也子氏 (グリーンチムニーズ 米国)
- 2013年 アローン・ワッサーマン氏 (心理療法士 イスラエル)



ICAC KOBE 海外スピーカーの皆様

- 2009年 ジョージア・メイソン氏 (グエルフ大学 カナダ)
ミランダ・ラック氏 (RSPCA インターナショナル 米国)
パメラ・バーンズ氏 (ハワイアン・ヒューメイン・ソサイエティ 米国)
- 2012年 レベッカ・ジョンソン氏 (ミズーリ大学/IAHAIO 会長 米国)
マイケル・A・ハフマン氏 (京都大学霊長類研究所)
- 2014年 トーマス・E・カタンザーロ氏 (人と動物の絆 米国・オーストラリア)
フィル・アーコー氏 (動物虐待と対人暴力 米国)
アンドリュー・E・デロシエール氏 (アルバータ大学 カナダ)
木下美也子氏 (グリーンチムニーズ 米国)
マイケル・E・カウフマン氏 (グリーンチムニーズ 米国)
- 2015年 ジョン・マディガン氏 (カリフォルニア大学デービス校 米国)
田中亜紀氏 (カリフォルニア大学デービス校 米国)
フィリップ・テデスキ氏 (デンバー大学 米国)
ペイ・F・スウ (ACTAsia 英国)



海外の先生からの言葉

- 2001年 フォルカー・ヴェンク先生（ベルリン動物保護協会）
「日本には対応すべきことはあるが、問題はない。このまま進めば良い。」
- 2011年 ジョイ・レネイ先生（元WSPA）
「日本は何をしたの？これが日本のスタンダードだと世界に知らせて」
（処分数の減少と愛護センターを見学して）
- 2014年 ポール・リトルフェア先生（RSPCA 国際部長）
「世界中のシェルターを見ているが、ここが世界一だ。」
（奈良県うだアニマルパーク内動物愛護センターを見学して）



兵庫県人と自然の博物館との協働と「あったらいいな」シリーズ

2003年～ 小規模作業所PatchとKnotsクッキー&ケーキを開発
無添加で安心・安全な犬用おやつ
しつけインストラクターと共にご褒美にも使いやすいタイプなどを開発
ご理解のある動物病院やお店、専用サイトで販売
現在は、障害者自立支援事業として継続

2004年～ 駆除されたシカの有効活用として
ニホンジカジャーキーも開発
宍粟市の主婦グループ

(現：しそうの森の贈物グリーンキーパー)も参加

2005年 島根県美郷町おおち山くじら(猪)開発(現在は終了)

2007年 兵庫県森林動物研究センター開設

ニホンジカ有効活用研究会(現 野生動物研究会) 幹事団体



NPO法人Knots その他の行政との協働

2006年 神戸市動物愛護協会50周年記念事業の運営を担当
椎名誠氏講演会「世界で見た人間と動物ーの現場」

第6回全国障害者スポーツ大会のじぎく大会
身体障害者補助犬開会式行進 運営協力

神戸市王子公園入園者アンケート

2008年～2012年 神戸市垂水区動物愛護フェスティバル

垂水区動物愛護
キャラクター
「タルちゃん」



2010年1月 一般社団法人Knots設立 11月 公益認定

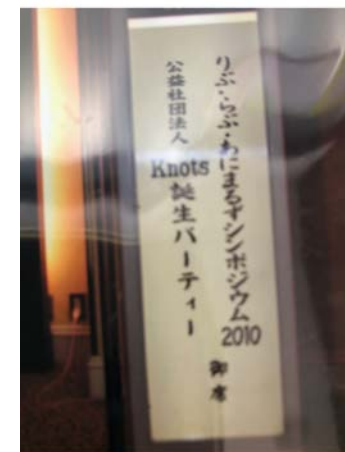
2006年「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」
NPO法人からの直接移行はできず、一般社団設立から公益認定へ

<活動理念>

このような中、人も動物も幸せに生きられる社会とはどのようなものでしょうか。

人と動物、動物と動物の間には、それぞれ関係性があり、影響し合っています。その関係性を正しく理解し、お互いがお互いを尊重し、バランス良く生きること、つまりそれぞれの「いのちが調和」することが幸せに繋がるのではないのでしょうか。**人も動物です。しかしながら、他の動物達への影響力は大変大きく、それ故、より良い調和を保つために他の動物達に対して、果たすべき責任があります。**

Knotsは、**人も動物も幸せに生きられる社会**にむけて、私達に出来ることを少しずつ行っていきたいと思います。



人と動物の関係概念図



HCJ（ヒューメインセンタージャパン）事業

2010年1月～2013年12月

マース・ジャパン・リミテッドの支援

社団法人日本動物福祉協会（当時）と共同で立ち上げ実施

「人も動物も幸せにすることを目的に、市民の結束と産業界の支援協力、行政が連携。

譲渡事業の周辺支援を中心に、人と動物に関わる様々な問題に、研究・教育・コミュニケーション（啓発）の手法で解決策を提案・実施していこうとするもの」

- 「シェルターメディシン」の講演会
- 欧米での「動物愛護法」の運用や「ヒューメイン・エデュケーション」について学ぶ機会提供（奈良県との協働）
- アジア型ヒューメインエデュケーションの構築を目指し、2012年6月より奈良県と連携協定を締結した「奈良県のいのちの教育プログラム」の普及支援として意欲のある8つの自治体に簡易版を提供



HCIJ事業終了後 公益社団法人Knotsとして奈良県と協働継続

奈良県「いのちの教育」展開事業 連携協定継続

* 学習指導要領に「生命や自然の尊重」が新たに規程された。

動物愛護教育



豊かな人格形成教育

アジア型ヒューメインエデュケーション構築

心豊かな市民の育成 = 心豊かな地域育成



- 「奈良県うだ・アニマルパーク振興室」を拠点に実施

教員2名を配置 モデル校20校 → **60校** 早期の県内200校実施を目指す

*** 教員向け研修開始**

* 奈良県は、教育委員会も参画しての「いのちの教育」研究協議会を設置。

(会長：奈良女子大学 天ヶ瀬教授・Knots 理事長： 副会長)



International Conference on Animal Care in KOBE

奈良県「いのちの教育」展開事業 連携事業

- 動物との関係性の概念の整理
 - 一緒に暮らす／利用する／共存する
 - 移入種問題・ワイルドライフマネージメント
- 5 Freedom（5つの自由）
 - 1) 飢えと乾きからの自由
 - 2) 不快からの自由
 - 3) 痛み・傷害・病気からの自由
 - 4) 恐怖や抑圧からの自由
 - 5) 正常な行動を表現する自由

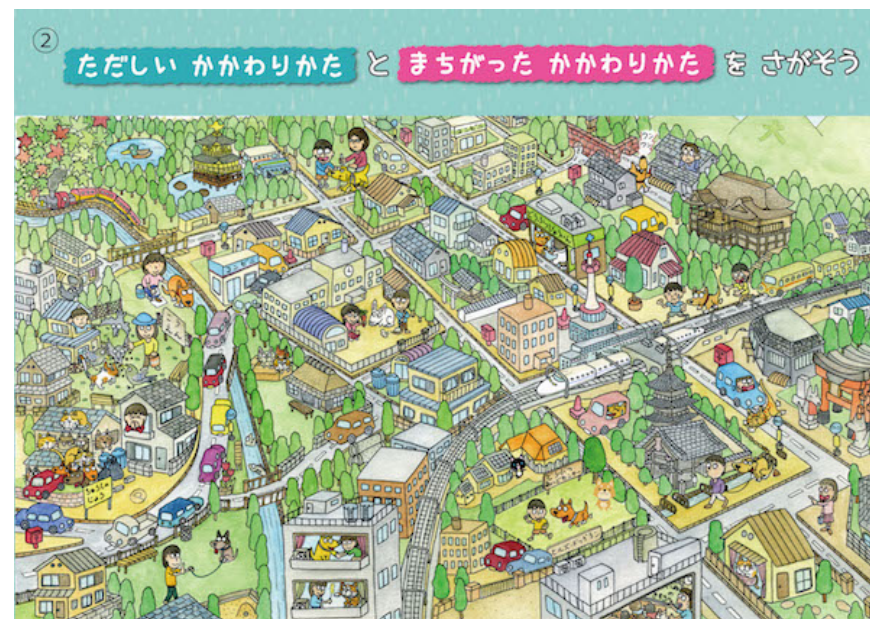
* 奈良県と毎年自治体及び教育専門家向けに研修会を開催。
八王子市／川崎市／滋賀県／和歌山県／神戸市／大分市は、
独自形態で導入している。



2016年～「教育ツール共有」事業

奈良県の「いのちの教育」研修会での**ツール制作困難の相談**
既に教育ツールを制作し、実施している自治体の協力で、
類似のツールの制作を認めて頂くことにより、
できるだけ早期に、安価に教育ツールを提供

京都市 副読本 (小学校1年生に配布)
宮崎県・宮崎市「みやざき動物愛護センター」
兵庫県明石市「あかし動物センター」
神戸市動物愛護協会 副読本
神戸市人と猫との共生推進協議会
NPO法人 (心織) こころ



2011年 東日本大震災 「ずっと一緒にいようよプロジェクト」

「被災された飼い主さん達の気持ちが理解できるのは、被災経験のある神戸」
折角、一緒に助かった命。「離れたら、いかんよね」という思い

「私達がああ震災で学んだのは、『キミが居たから頑張れた。キミが居るから生きていける』
という関係が、ペットと人の間にも成立するということでした。ペットはそれぞれの日常でも
あり、飼い主さんが、力強く生きていく力を生み出します。」とメッセージ発信開始



2016年 熊本地震 環境省飼い主支援へ
Knots『被災された方がペット可住宅に入居される際の支援』
1件3万円を助成する事業を実施 23件の助成実施

現在 同行避難への政策転換 → 日常の危機も乗り越えて、「一緒に居られる社会システム」へ

『「伴侶動物との暮らし」を活用した「高齢者が幸せに暮らせる社会システム」の提案』（論文）
一般社団法人シニア社会学会機関紙「エイジレスフォーラム第14号（2016年6月）」に掲載



高齢者と伴侶動物の現状

* ICAC KOBE 2014 シンポジウム4より抜粋

伴侶動物との暮らしの評価
 高齢者（60代以上）に限ると、
**規則正しい生活が出来る／自分自身の健康に役立つ／
 友人・知人が出来る／近所の方と仲良くなれる**
 の項目が全体より高くなる。

高齢者の課題である、「健康」と「地域でのコミュニケーション確立」に付いて、高齢者自身が、効果を感じている。

現状1) 神戸市動物管理センターの現実
 伴侶動物の引き取りの36.4%が、飼い主の死亡・病気
 死亡1：病気3の割合であり、多くは高齢者である。
「信頼し合っていたのちの最後が、管理センターでの別れ」
 75%は、伴侶動物を引き渡した上で、独り生きねばならない。
「その時こそ、伴侶動物が必要なのではないか」

現状2) ペット飼育世帯 50代 犬：20.0% 猫：11.8%
 60代 犬：15.8% 猫：10.1%
 (飼育意向率(全世代)：犬：26.8% 猫：16.8%)

近年、減少傾向が見られる→高齢者のあきらめ

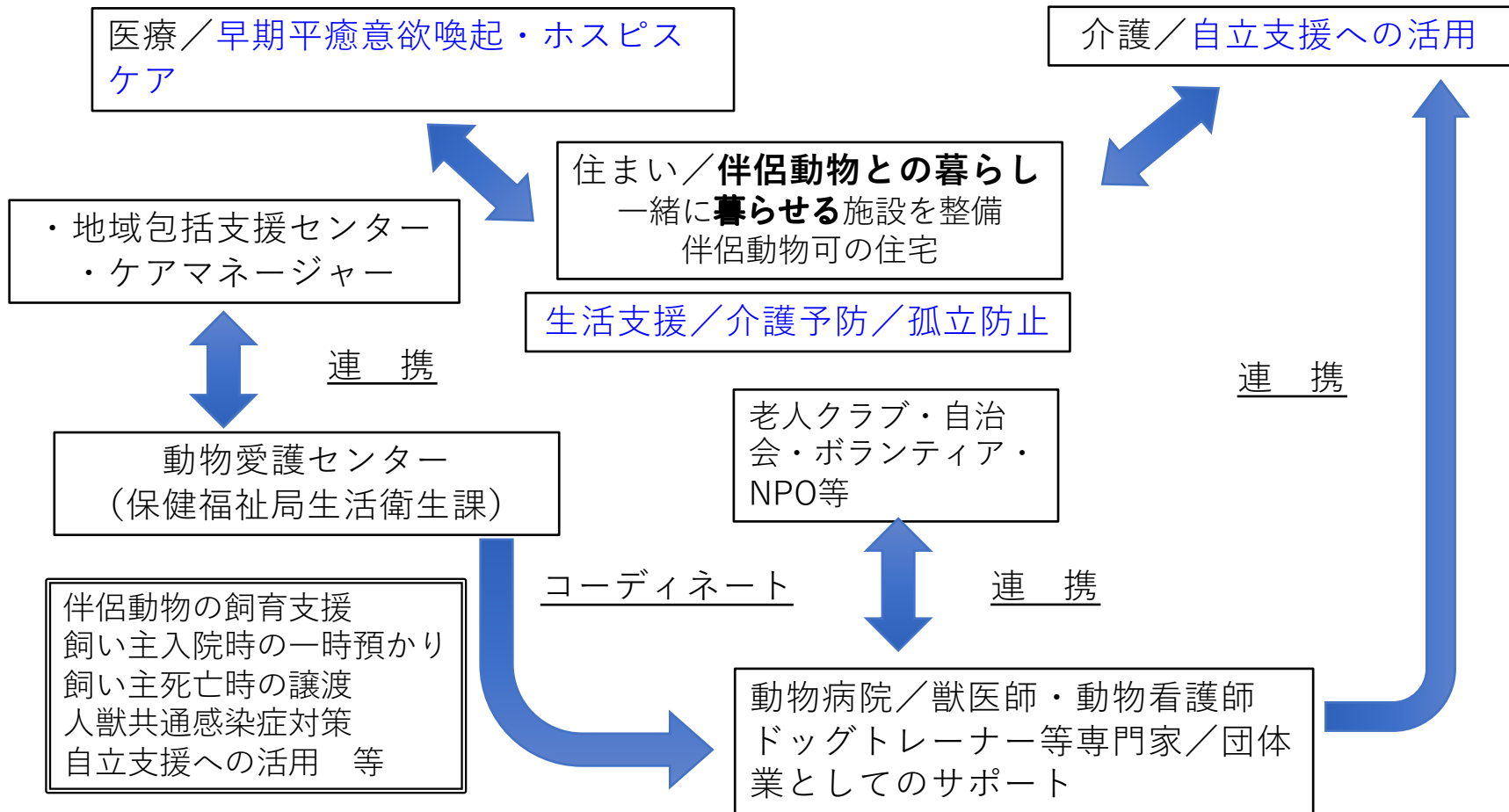
「飼いたくても飼えない」 高齢の飼い主の不安要素
 自分の年齢・健康状態
 高齢や病気で世話が出来なくならないか。

伴侶動物との暮らしが、豊かな老後の形成に繋がる。

飼育を諦めなくても良い社会
 ↓
老後の不安をひとつ減らせる。

老後の**不安**を反映

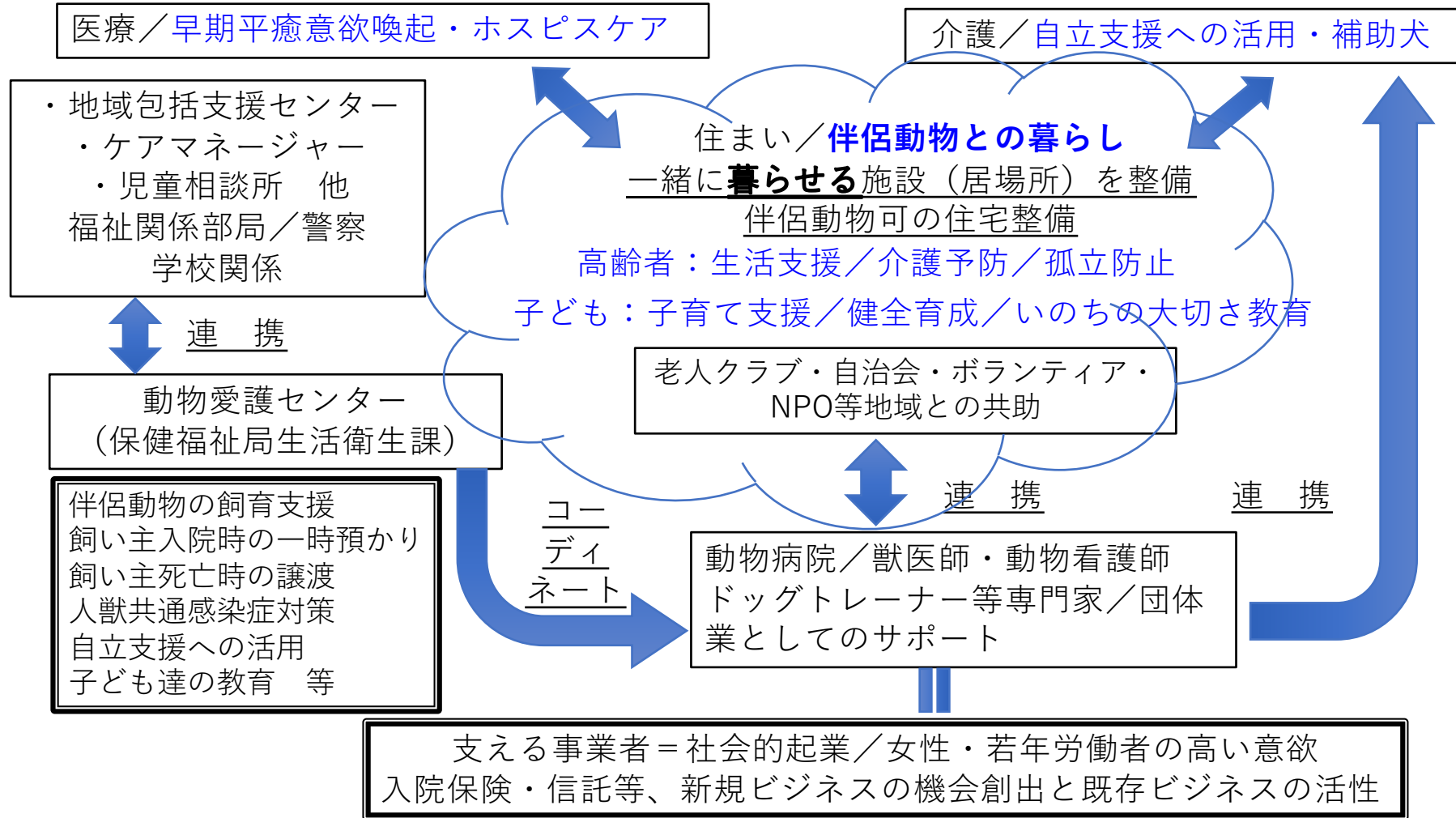
地域包括ケアシステムの中に「伴侶動物との暮らし」を取り入れる



伴侶動物との暮らしから見る地域支援策全体図（案）

* ICAC KOBE 2014 シンポジウム4より作成

地域に「伴侶動物との暮らし」を取り入れる = いのちが共生する優しく温かな社会



ICAC KOBE 神戸アニマルケア会議 2009・2012・2014 International Conference on Animal Care in KOBE

阪神・淡路大震災15年

第1回神戸アニマルケア国際会議 - ICAC KOBE 2009併設展示会

2009年12月12日・13日 神戸国際会議場・神戸国際展示場

主催：NPO法人Knots 共催：大震災動物救護メモリアル協議会・神戸市動物愛護協会

りぶ・らぶ・あにまるず 第2回神戸アニマルケア国際会議2012 (ICAC KOBE 2012)

「その医療と健康管理」 ~人と動物の未来のために

2012年2月18日・19日 神戸ポートピアホテル

主催：社団法人日本獣医師会・公益社団法人Knots 共催：社団法人兵庫県獣医師会・公益社団法人神戸市獣医師会

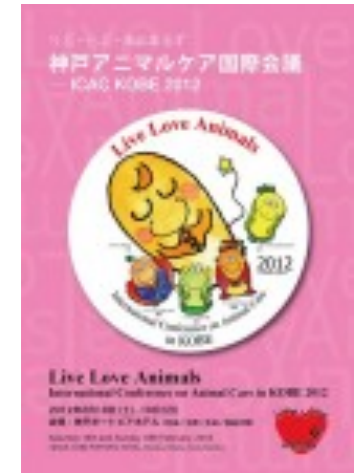
りぶ・らぶ・あにまるず ICAC KOBE 2014

第3回神戸アニマルケア国際会議 2014 - 人と動物の未来の為に -

2014年7月19日・20日 神戸ポートピアホテル

主催：公益社団法人日本獣医師会・公益社団法人Knots

共催：公益社団法人日本医師会・一般社団法人兵庫県獣医師会・公益社団法人神戸市獣医師会



ICAC KOBE 神戸アニマルケア会議 2009・2012・2014 International Conference on Animal Care in KOBE

<会議アドバイザー／ポスターセッション選考委員>

植村興氏（四條畷学園大学教授）

笹井和美氏（公立大学法人 大阪府立大学 獣医学類 学類長 教授・2014より）

柴内裕子氏（公益社団法人 日本動物病院福祉協会 顧問 / 赤坂動物病院 院長）

玉井公宏氏（公益社団法人 和歌山県獣医師会会長）

山口千津子氏（公益社団法人 日本動物福祉協会・獣医師調査員）

山崎恵子氏（ペット研究会「互」主宰）



<特別協賛> ネスレ日本株式会社 ネスレピュリナペットケア

<シンポジウム支援> ロイヤルカナンジャパン・DSファーマアニマルヘルス株式会社・
マース ジャパン リミテッド

<会議支援> アメリカペットフード協会・六甲山カンツリーハウス・アサヒグループホールディングス株式会社

<助 成> 財団法人神戸国際観光コンベンション協会ポートピア'81 記念基金・
公益財団法人中内力コンベンション振興財団



ICAC KOBE 神戸アニマルケア会議 2009・2012・2014 International Conference on Animal Care in KOBE

<目的>

この会議は、**阪神・淡路大震災15周年を契機に、全ての動物を対象とし、そのより良いケアや生息環境の保全を目指すための情報交換・新技術の創出等を議論することにより、人を含む世界中の動物の福祉を向上させ、以て、我々人間が果たしうる責任を広く社会に示し、幸福な人と動物の共生を更に前進させることを目的とする。**

<キーワード>

「お互いの存在に『感謝』し、生ある限りは『幸せ』であることが、いのちに対する『責任』である。」



阪神・淡路大震災15年 第1回神戸アニマルケア国際会議 - ICAC KOBE 2009



< 基調講演 >

市田 成勝氏 (大震災動物救護メモリアル協議会 会長)
「阪神・淡路大震災における動物救護について」

< 9つのワークショップ >

- 「緊急災害時の危機管理」
- 「動物園におけるエンリッチメントの実際」
- 「産業動物の福祉と経営」
- 「シェルター動物のケア・より良い譲渡に向けて」
- 「アニマルケア・動物病院及び看護職の果たす役割」
- 「高齢犬のケア」
- 「ペット動物の栄養学～腸の健康が体全体に及ぼす影響」
- 「チャイルドケアとアニマルケア」
- 「野生動物の保護管理～生息地保護と有効活用」





第2回神戸アニマルケア国際会議2012—ICAC KOBE 2012 「その医療と健康管理」～人と動物の未来のために

< 基調講演 >

長崎大学学長（当時）片峰茂 氏

「感染症は如何に制御できるのか」



< 9つのワークショップ >

日常生活でペットからうつる人と動物の共通感染症

「人と動物の絆.Human Animal Bond タイガープレイスと

日本における代表的なアニマルセラピーの活動発表」

「東日本大震災から学ぶ今後の緊急災害時の動物救護

～法的裏づけの必要性と平時からの準備」

「ずっと一緒に居ようよ』人とペットの日常を護る為に

One World, One Health

東日本大震災における被災動物対応の現状と今後の課題

—放射性物質汚染への対応を考える—

「多様な対応が求められる動物医療」

「食の安全を考える」

「犬との共生」



人と動物の共生を考える
神戸で国際会議

人間と動物の共生を考
える「神戸アニマルケ
ア国際会議」が18日、神
戸市中央区津島中町、神
戸ポートピアホテルで始
まった。獣医師ら専門家
が動物の健康や災害時の
救援を題材に講演を交
えて、19日まで。

（原本方恵子）

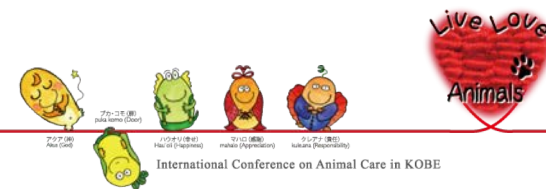
2日目の今回は日本獣
医師会の共催で開いた。
初日は、片峰茂・長崎
大学長（医学）が「感染
症」をテーマに講演。動
物から人にウイルスが侵
入した感染症の例や、
長崎県で流行した「成
人T細胞白血病ウイルス」
の感染経路解明や
予防の研究成果などを話
した。

19日は午前10時、午後
1時、午後2時、東
日本大震災で被災した
動物の課題などをテ
ーマにしたワークショップ
がある。無料で当日参加
できる。

片峰・長崎大学長の
講演を聴く参加者＝
神戸ポートピアホテ
ル

09年、動物
にかかわる事
業を展開する
団体「Kno
ts（ノツ
ツ）」（神戸
市）が主催

会場は20
09年、動物
にかかわる事
業を展開する
団体「Kno
ts（ノツ
ツ）」（神戸
市）が主催



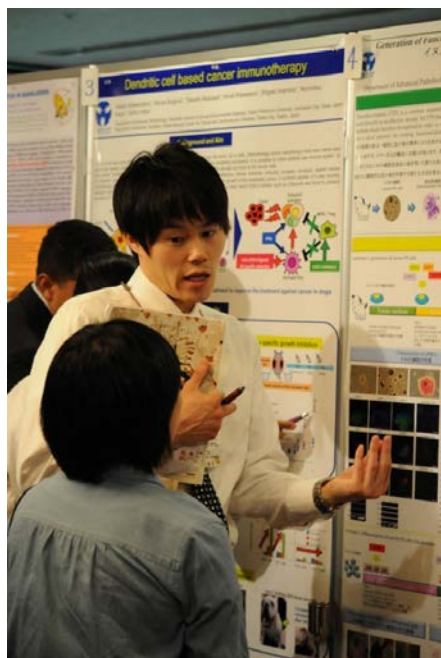


第3回神戸アニマルケア国際会議 – ICAC KOBE 2014 ～人と動物の未来の為に～

< 基調講演 >

喜田宏先生 (北海道大学 特別教授)

『インフルエンザウイルスの生態：
鳥インフルエンザとパンデミックインフルエンザ対策の為に』



< 9つのシンポジウム >

身近に存在する人と動物の共通感染症

CAPP活動 (JAHA)

暴力の連鎖：人間に対する暴力と動物虐待の関連性

「ずっと一緒に居られる社会」へ – 飼い主を支えるシステムが実現する豊かな社会

One World, One Health ～ 今、北極で何が起きているのか? ～

高度動物医療と終末期動物医療 (安楽死処置を含む：平穏死について) の現状は?

畜産現場における野生動物被害

畜産Now! 一食の安全と動物福祉

奈良県「いのちの教育」 - 子ども達へ「いのち」を伝える試み



ICAC KOBE 2015 (国際会議)

International Conference on the Care for All Creatures

「神戸 全ての生き物のケアを考える国際会議」

動物だけが別に置かれる文化

* ex.兵庫県の人と防災未来センターには、
動物を研究する人はひとりも居ない！



- 「ヒトも動物」という視点も加え、
動物も一緒に考えて貰える文化へ



ICAC KOBE 2015 阪神・淡路大震災の経験を人と動物の幸せな未来へ 阪神・淡路大震災20年記念大会 One World, One Life —

— One World, One Life —

「お互いの存在に『感謝』し、生ある限りは『幸せ』に暮らすこと。それが、いのちに対する『責任』である。」

阪神・淡路大震災から20年が経ちます。大きな災害は、ごく普通の日常が、どんなに脆く、大切に、守らねばならないものを教えてくれました。それは、どんな生き物にとっても同じでした。

また、**生き物の暮らしを襲う危機**は、大きな災害だけではなく、**老いや疾病、事故や戦争、貧困**と、様々な要因で私達を襲います。それに対し、社会は、高度な専門性を以て、対処してきました。

世界は**グローバル化**し、地球は小さくなりました。私達は、今や**世界との繋がり無し**に、自分達の生活を考えることは出来ません。そして今、様々な課題解決の為に、**分野を越えた連携**も広く求められています。

生きとし生けるものが、この地球上で幸せに暮らせる社会にしていく為、様々な専門分野の連携のもと、私達人間に出来ることを幅広く議論する場を提供し、「**ひとつの豊かな地球は、ひとつひとつのいのちの幸せを繋いでいくことで構築されていく**」— **One World, One Life** — 概念構築の第一歩と致します。



ICAC KOBE 2015 阪神・淡路大震災の経験を人と動物の幸せな未来へ 阪神・淡路大震災20年記念大会 One World, One Life

2015年7月19日・20日

神戸大学統合研究拠点・神戸ポートピアホテル

主催：ICAC KOBE 阪神・淡路大震災 20年記念大会 実行委員会

神戸市／兵庫県動物愛護センター／公立大学法人 大阪府立大学 獣医学類／公益社団法人 日本動物病院協会／

公益社団法人 日本動物福祉協会／ 公益社団法人 Knots（事務局）

共催：公益社団法人 日本医師会／近畿地区連合獣医師会／神戸市動物愛護協会

特別協力：獣医16大学／一般社団法人ペットフード協会／公益財団法人日本モンキーセンター／神戸大学大学院農学研究科／

長崎大学熱帯医学研究所／関西学院大学 災害復興制度研究所／

同志社大学 良心学研究センター、同 生命倫理ガバナンス研究センター

セッション運営支援：公益社団法人 日本獣医学会／日本野生動物医学会

特別協賛：日本ヒルズコルゲート株式会社 シンポジウム支援：ロイヤルカナンジャパン

会議支援：アサヒグループホールディングス株式会社／六甲山カンツリーハウス／DSファーマアニマルヘルス株式会社／

ペットライン株式会社／au損害保険株式会社

助成：Meet IN KOBE 21／公益財団法人 中内カコンベンション振興財団



ICAC KOBE 2015 阪神・淡路大震災の経験を人と動物の幸せな未来へ 阪神・淡路大震災20年記念大会 One World, One Life ー

<協力>

日本寄生虫学会／日本衛生動物学会／日本熱帯医学会／国際医療リスクマネジメント学会／日本予防医学リスクマネジメント学会／応用動物行動学会／ヒトと動物の関係学会／公益財団法人 動物臨床医学研究所／一般社団法人日本臨床獣医学フォーラム／兵庫県立人と自然の博物館／兵庫県立コウノトリの郷公園／兵庫県森林動物研究センター／奈良県うだ・アニマルパーク振興室／公益社団法人 日本動物園水族館協会／日本クマネットワーク／ニホンジカ有効活用研究会／一般社団法人 エゾシカ協会／一般社団法人 日本SPF豚協会／一般社団法人 ちよだニャンとなる会／公益財団法人 日本盲導犬協会／社会福祉法人 日本介助犬協会／特定非営利活動法人 兵庫介助犬協会／社会福祉法人 兵庫盲導犬協会／社会福祉法人 日本聴導犬協会／特定非営利活動法人 聴導犬普及協会／特定非営利活動法人 野生動物救護獣医師協会／一般社団法人 日本障害者乗馬協会／動物との共生を考える連絡会／アニマテック・オオシマ／一般社団法人 優良家庭犬普及協会／一般社団法人 日本ペット用品工業会／日本動物病院会／一般社団法人 日本動物看護職協会／ペットとの共生推進協議会／一般社団法人 人とペットの幸せ創造協会／一般社団法人 ジャパンケネルクラブ／一般財団法人 全国緊急災害時動物救援本部／日本獣医学生協会 (JAVS)

<後援>

農林水産省／環境省／厚生労働省／文部科学省／兵庫県／兵庫県教育委員会／神戸市教育委員会／神戸大学統合研究拠点／公益社団法人日本獣医師会／一般社団法人兵庫県医師会／一般社団法人 兵庫県獣医師会／公益社団法人 神戸市獣医師会／一般社団法人神戸市医師会／一般財団法人 J-HANBS／公益財団法人 日本動物愛護協会／公益社団法人 日本愛玩動物協会



ICAC KOBE 2015 阪神・淡路大震災の経験を人と動物の幸せな未来へ 阪神・淡路大震災20年記念大会 One World, One Life ー

<会議アドバイザー>

ヒト医療識者：竹内 勤氏（慶應義塾大学 名誉教授／慶應義塾大学グローバルセキュリティ研究所 客員上席研究員）

理学系識者：松沢 哲郎氏（京都大学 霊長類研究所 教授／公益財団法人 日本モンキーセンター 所長）

文系識者：奥野 卓司氏（関西学院大学 総合図書館長・社会学部 教授／放送大学大学院客員教授／山階鳥類研究所 副所長）

<基調シンポジウム>

「阪神・淡路大震災の経験を人と動物の幸せな未来へー 護るべき大切な日常とは？」

座長：位田 隆一氏（京都大学 名誉教授／同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科 特別客員教授／
同志社大学生命倫理ガバナンス研究センター長／公益財団法人 国際高等研究所 副所長）

<シンポジウム>

「同行避難～これからの人と動物の緊急災害時」

「最近問題となった人と動物の共通感染症」（人と動物の共通感染症研究会）

「災害に強い日本型畜産の構築のために」

「地域を幸せにする伴侶動物飼育支援システムー伴侶（家庭）動物との暮らしを地域活性へ」

「日本の災害獣医療の今後を考える」（災害動物医療研究会）



ICAC KOBE 2015 阪神・淡路大震災の経験を人と動物の幸せな未来へ 阪神・淡路大震災20年記念大会 One World, One Life

<オーラルセッション>

1) 「食の安全／人獣共通感染症」

運営協力：公益社団法人日本獣医学会

座長：中山 裕之氏（公益社団法人 日本獣医学会 理事長／

東京大学 大学院農学生命科学研究科 獣医病理学研究室 教授）

2) 「One Plan Approach ～野生動物と共存していくための包括的な取り組み」

運営協力：日本野生動物医学会

座長：高見 一利氏

（大阪市天王寺動物公園事務所 動物園担当課長代理／日本野生動物医学会 副会長／

公益社団法人日本動物園水族館協会 生物多様性委員会国際保全事業部長）

3) 「教育／子ども達との関わり」

座長：天ヶ瀬 正博氏（国立大学法人 奈良女子大学 准教授）



<ポスターセッション>

運営協力：公立大学法人 大阪府立大学 獣医学類



2017年～ 神戸市との新たな協働

2017年 「神戸市 人と猫との共生に関する条例」が施行
「神戸市人と猫との共生推進協議会」 監事

2019年 神戸市動物愛護協会の理事
同協会の動物愛護図画「Knots賞」制定



「神戸市動物愛護フェスティバル」

実行委員会：神戸市動物愛護協会・公益社団法人神戸市獣医師会・
公益社団法人Knots

神戸市の総合福祉ゾーン「しあわせの村」で継続開催

* 2021年度に新たな動物共生拠点の設置



2017年～ 「PIIA Knots リレー・エッセイ」

産業情報新聞社ペット & Life に
掲載（約2か月に1回）

Knotsがお世話になっている皆様に「人と（ヒト以外の）動物の幸せな共生」をテーマにエッセイを頂く。

産官学の幅広い皆様に、感染症から、野生動物、産業動物、ペットとのお出掛けまで、Knotsらしく幅広いお話を提供

PIIA Knots
Knots NEXT "One World, One Life"
公益社団法人Knots ノット・結び目
WEBサイト <http://knots.or.jp>
[今号のメッセージ]
東京大学大学院 農学生命科学研究科
農学国際専攻 国際動物資源科学研究室
教授 杉浦勝明 さん

公益社団法人Knots(結び目)は、「人と（ヒト以外の）動物の幸せな共生」をテーマに主に社会教育事業を行っています。
Knotsが日頃お世話になっております素敵な皆さまから、メッセージを頂くノースです。

人と家畜の幸せな共生

抗菌薬は、細菌を殺して、成長防には、農家は獣医師の指示のもと抗菌薬を適正・慎重に使用する。これが重要になり、私の研究室は、今年度からJRA（日本中央競馬会）の助成を受け、獣医師が発行する指示書を電子化（クラウドサービス）にすることを始め、獣医師、農家、医薬品販売店、行政機関（家畜保健衛生所）と連携して、農薬品の使用状況を把握し、最終的には抗菌薬の使用量を削減し、飼料中の抗菌薬の削減に期待しています。

都市化が進み、生産現場と消費者の距離が広がり、畜産現場を知らない消費者が増える中で、この事業を通じて、アニマルウェルフェアへの関心が高まれば、なれば幸いです。



ドイツの養豚場の妊娠豚舎。アニマルウェルフェアの観点から各豚の豚は自由に開閉し、他の豚と交流できるようになっている。

PIIA Knots
Knots NEXT "One World, One Life"
公益社団法人Knots ノット・結び目
WEBサイト <http://knots.or.jp>
[今号のメッセージ]
VISION VETS GROUP (VVG) Lab センター長
東京大学名誉教授 中山 裕之さん

公益社団法人Knots(結び目)は、「人と（ヒト以外の）動物の幸せな共生」をテーマに主に社会教育事業を行っています。
Knotsが日頃お世話になっております素敵な皆さまから、メッセージを頂くノースです。

獣医学研究を通じて人と動物とのより良い関係を築く

動物は、私たちの日常生活を豊かにしてくれるパートナーとして、人の生存にかかせない食料などの生活資源として、人を救済してくれ、様々な環境の一部として、あるいは今回のコロナウイルス感染症の媒介者として、良きにつけ悪きにつけ人の生活に大きく関わっています。しかし、人と動物の幸せな共生を実現するためには、動物側からの視点も必要不可欠です。そして、この動物側の視点こそが「アニマルウェルフェア（動物福祉）」なのです。

「アニマルウェルフェア」とは飼育動物に対する配慮、接し方、飼育環境、具体的には5つの自由（1.肌を湯洗う、2.不快から、3.痛みから、4.疾病から、5.恐怖から）を保障し、その上で、動物の自由を尊重し、その動物の行動を表現する機会を確保し、動物の健康を維持し、動物の福利を確保することを目的とする。非営利組織「VISION VETS GROUP (VVG) Lab」を開設した。獣医学研究を通じて人と動物とのより良い関係を築くことを目的とする。非営利組織「VISION VETS GROUP (VVG) Lab」を開設した。



獣医学研究を通じて、人と動物とのより良い関係を築く。その成果を社会発信する。この成果を社会発信する。その成果を社会発信する。

これまで、獣医学研究はおもに化学や公的施設で実施されてきた。VVG Labは、民間の立場で様々な獣医学研究の遂行をサポートし、成果の公表を通じてこれを社会還元し、人と動物のよりよい関係を構築していきます。ホームページをご覧ください。私たちの活動について、意見・提案をいただければ幸いです。

(<https://lab.vision-vg.com>)

非営利法人経営の面から

2015年 ネスレ日本株式会社の支援終了

CSR（企業の社会的責任：日本では社会貢献の意が強い）

→ CSV（Creating shared value :共通価値の創造）

欧州型CSR **事業を通じての社会課題解決** 全社方針

コンプライアンス・ガバナンス・株主への説明責任

→ 企業の多額の寄附支援は困難に

2014年 Knots ALOOHA Club（賛助会員再構築）

➡ 公益事業収益や助成金による自己資金運営への転換が必要

公益法人会計の壁 収支相償：黒字の繰り越しが困難
遊休財産：余剰資金の保持が困難



Knots NEXT 「One World, One Life」

「ひとつの豊かな地球は、ひとつひとつのいのちの幸せを繋いでいくことで構築されていく」

「生ある限りは幸せに」といういのちへの責任を果たせるよう、

「生き物としてのヒト」という視点を活かした各々のいのちに寄り添う社会システム構築に向け、情報交流、啓発、教育、研究を行っていただければと考えています。

例えば、**5 Freedom (5つの自由)**

- 1) 飢えと乾きからの自由
- 2) 不快からの自由
- 3) 痛み・傷害・病気からの自由
- 4) 恐怖や抑圧からの自由
- 5) 正常な行動を表現する自由

→ **SDG'sの目標に繋がる**

「**だったらいいな**」の社会システムの構築



EBPM (エビデンスに基づく政策立案)



Society5.0社会での新たな調査・研究

今後共、公益社団法人Knotsに、温かなご指導とご支援を宜しくお願い申し上げます。

